

西日暮里駅前再開発の都市計画決定を受けて



区立西日暮里
高齢者通所サービスセンター



区立ひぐらし保育園



画決定がされたとたん「保育園の代替地確保は難しい

区は西日暮里駅前再開発の都市計画決定を受けて、当初、移転などを含めて検討されていた区立西日暮里高齢者通所サービスセンターの今年度での廃止と区立ひぐらし保育園の来年度から0歳児から3歳児の入園募集を停止し、2024年3月で閉園するとの報告がありました。

駅前再開発は、旧道灌山中学校校跡地や保育園、通所サービスセンターなど区などの公有地が約6割を占める開発です。再開発ビルの中の公共施設もコロナ禍の中で大ホール建設をあきらめ変更され、一千戸のタワーマンションによる人口増による学校、保育園などの公共施設が足りなくなるのではなど、区民のみなさんからの疑問や不安から多数の陳情が寄せられ昨年の区長選挙でも大きな争点の一つとなりました。

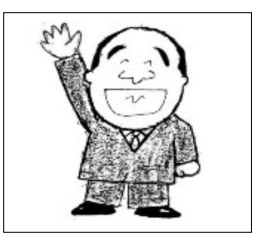
この2つの施設も他の場所への移転を中心に検討するつもりでしたが、東京都での都市計画決定がされたとたん「保育園の代替地確保は難しい」と、保育園の代替地確保は難しいと、民間事業者が増加しており、サービスセンターの利用が年々低下しているなど理由にしています再開発問題が議論されている時には「検討中」としか言わず、「決定」が降りたとたん、廃止決定はあまりにもひどすぎるのではないのでしょうか。

現在の住民のみなさんへのサービスを削って公共サービスの低下をすすめる。誰のための再開発なのかこの点でもハッキリしているのではないのでしょうか。

コロナ禍でケアにやさしい社会こそ求められます

コロナ禍で、医療・介護・保育などの大切さ、質の確保・向上があらためて求められている中で、その先頭にたつべき地方自治体が撤退していくことは間違っています。引き続き撤回を求めて生きたいと思えます。みなさんのご意見などお寄せください。

区立西日暮里通所サービスセンターの廃止 区立ひぐらし保育園の入園募集停止を提案



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員
小林行男
ご意見をお寄せください
区政ニュース

NO. 824
2021. 7. 25
区議会控室
TEL 3802-4627
FAX 3806-9246
Email: arajcp@tcn-catv.
ne.jp
ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/
東尾久相談室
東尾久2-37-3
TEL・FAX
3895-0508

新型コロナワクチンの状況 高齢者7月末までに完了の見込み

区内では、高齢者等の接種率は、1回目接種を完了した方が80%、2回目接種を完了した方が50%を超えています。(7月14日現在)希望する高齢者の方には、7月末で接種を完了する見込みです。64才以下の方の予約も拡大がはかられてきています。詳しくは「特設ホームページ」をご覧ください。

接種を希望する方で、まだ接種を受けていない方は、かかりつけ医等に相談するか電話などで予約してください。

新型コロナワクチン接種予約センター
0120-027-030
新型コロナワクチン相談センター
0800-666-7777



法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所
の弁護士による法律相談会
をおこなっています。
できるだけ事前にご連絡く
ださい。

8月の相談会はお休みします

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

高齢者・子育て世代にエアコン助成の復活を!



高齢者や子育て世代の切実な要望に応えることが大切ではないでしょうか。コロナ対策で環境部が行っている省エネエアコンへの

区が5年前実施した高齢者・子育て世代へのエアコン助成は、高齢者は2年連続しましたが「当初の目的は達成した」として区は助成制度を廃止しました。すでに3年たっています。今あらためて、

区議会6月会議での小林区議の一般質問の一部を紹介します。新型コロナウイルス発生から2回目の夏を迎えます。繰り返される緊急事態宣言でコロナ対策を緩めることはできません。ステイホームもまだまだ続きます。外出自粛の中で6月でも30度を超える真夏日や蒸し暑い日が増えていきます。対策がどうしても必要です。監察医務院の調査でも熱中症による死者は増加の傾向を示しています。昨年度内でもなくなった187人のうち「エアコンを設置していない・あっても使用していなかった」方が全体の9割にものぼっています。また、「設置しているが故障中」の方が22人もいます。

補助は今年も実施されています。結構なことだと思います。構なこともと思いますが、省エネラベル4つ星以上は通常販売されているものよりも値段が高く、購入を躊躇する傾向がみられます。バランスをかいているのではないのでしょうか。まだまだ、命と健康を守るエアコン設置助成が必要です。全国、都内でも実施する自治体が増えていきます。新型コロナと熱中症対策のため、エアコン設置補助制度を実施すること。答弁を求めました。

区議会6月会議での小林区議の一般質問の一部を紹介します。

23区内のエアコン助成制度	
自治体名	
港区	住民税非課税世帯で▽65歳以上のみ ▽65歳以上の人と障害者のいずれか 上限6万5千円。申請期限9月30日
足立区	▽区内在住で65歳以上▽エアコンがないか 故障している▽住民税を滞納していない▽省 エネ基準達成率100%以上のエアコンを区内 店舗で新品で購入し設置する。 上限7万円。所得制限なし生活保護利用も可
荒川区	▽住民税を滞納していない世帯。統一省エネ ラベル4つ星以上の製品(中古品含む)を区内 店舗で購入する場合は上限3万円、区外1万 円(費用の4分1を助成) 購入期限2022年1月31日



原爆と人間展

被爆76年 被爆の実相を伝えともに考えよう

8月1日(日)から3日(火)まで

町屋文化センター(2階ふれあい広場)

(午前10時から午後6時まで、3日は午後4時まで)

入場無料

主催：原水爆禁止荒川協議会 後援：荒川区・荒川区教育委員会



「焼き場に立つ少年」は1945年9月に佐世保に上陸した米軍の従軍カメラマン、ジョー・オダネル氏が撮影した。死んだ幼子を背負い火葬場に現れた少年の姿をとらえている。

日本被爆者団体協議会作成の「原爆と人間展」パネルと広島の高校生が被爆者から聞き取りをした絵画が平和への願いを語りかけます。ぜひ、ご覧ください。そして考え行動しよう。

「ヒロシマの母たちの祈り」

(DVD30分)

「にんげんをかえせ」

(DVD20分) など

随時上映いたします。



○緊急事態宣言の中、東京の感染者数は連日拡大しています。オリンピックいよいよですが、今からでも中止を求める世論もどる世論調査を見ても強いものを示しています。選手村の中でもボランティアにも広がっています。まともに試合もできないことも予想されています。やっぱり今からでも中止を求めたい。

